

人権・平和・環境 あしだかわ

発行

南部生涯学習センター
福山市沼隈町草深 1889 番地 6
(沼隈支所 3 階)
TEL 980-7713
FAX 987-2382

E-mail: nanbu-syougai-gakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp

福山市ホームページ(URL:<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/>)から「あしだかわ」で検索!

【公民館】

泉 951-1557 熊野 959-0001
山手 951-9381 水呑 956-3943
津之郷 951-1002 高島 956-0219
赤坂 951-1001 鞆 982-2664
瀬戸 951-1003 走島 984-2550
明王台 952-3511 内海 986-3722

【コミュニティー】

山手 951-5679
瀬戸 951-1809
鞆 982-1882
内浦 986-3535
常石 987-3839
千年 987-3188
山南 988-1981
能登原 987-4460

青年の父 やまもとたきのすけ あしあと たす 山本瀧之助の足跡を訪ねて

【11】内務省や文部省を動かす

井上書記官との面談では、広島県内で青年団体が夜学校を開催している現状を報告し、国として統一指導の必要性を進言した。その内容が内務大臣に報告されたと見え、1905年(明治38年)9月29日付の内務省地方局長名で各県知事宛に「模範となる青年会の組織・事業などについて調査報告するよう。」と通達が出された。また、翌年9月には『地方自治と青年団体』の小冊子を全国の郡長宛に配布した。こうした内務省の動きは、瀧之助の熱心さもあつたが、日露戦争という時局を契機に青年団体を地方自治の発展に期すための大切な団体と考えるようになったからである。

一方、文部省は、1905年(明治38年)第5回全国連合教育会に「補習教育の普及発達を図る最も有効な方法」を諮問した。広島県からは、小学校教員の山本瀧之助が代議員に抜擢された。会議は、8月5日から3日間、東京で開かれた。瀧之助は、「国は若連中を再編成し、新しい青年団体を組織すること。青年団体が今着手すべき事業は夜学会・文庫の設置・演説会・共同作業



農閑期に開かれた沼隈郡の青年夜学会 (絵: 竹下 夢二)

などを列挙し、国は地方における青年団体の指導奨励をすべきである。」と提案した。瀧之助の提案は全面的に取り上げられ、以後、文部省が青年団の組織化や活動に前向きに取り組むことになった。

執筆: 上田 靖士 (山本瀧之助研究会)